

標十五句

松岡隆子選

靴音の遠のく釣瓶落しかな
 饒舌のやがてさみしき鯛雲
 詰めきれぬほどに拾ひて櫟の実
 秋冷のポストことりと音立つる
 まはれ右せねば帰れぬ夕花野
 秋風のはこぶ淋しさだけならず
 棚の物椅子もて覗く冬支度
 頭痛薬よく効く水の澄みにけり
 弛みなきまま枯蔓となりゐたり
 冷え込みにて終着駅の掛時計
 とべさうな川なら跳んで鴝の晴
 虫の夜や二枚目も書く一筆箋
 水音のしるるやうな寒さかな
 ふりむきしところ鏡冷まじや
 すこし癒えすこし歩きて水の秋

故

松浦いね子
 宮崎美智子
 町田洋子
 小村絹代
 梶浦道成
 大津朗
 相馬晃一
 小山陽子
 白井清春
 中嶋孝子
 平沢千恵子
 渡辺あつ子
 佐藤郭子
 川上昌子
 生方ふよう